

VI 希少動植物の保全

<主要施策の取組状況>

1 希少動植物の保全手法・対策と調査・モニタリングの検討

① **F S** 希少動植物の保全手法・対策の検討

- ・ 神奈川県オオタカ保護指針に基づき、オオタカの生息状況を調査し、保全に係る基礎的な情報を収集するとともに、繁殖期間中の工事について事業者等へ配慮を促した。
- ・ 県内の 272 箇所、約 5,186 ha でガン・カモ類の生息状況を調査し、183 箇所でガン・カモ類が観察された。
- ・ ツキノワグマについて、保護と人身被害を未然に防止するために県内の痕跡、目撃情報を収集し、出没や生息状況を把握した。また、人里への出没が頻発した地域では、人身被害を未然に防止するため、追払い等を実施した。
- ・ 絶滅危惧種 IA 類である、ヤシャイノデの生育状況を調査した結果、2 流域で計 5 個体の生育を確認することができた。特に、1 流域での個体数の減少は著しく、斜面崩壊やスズタケ等の林床植生の衰退が、間接的に影響していると考えられる。
- ・ 絶滅危惧種 IB 類である、サガミジョウロウホトトギスの生育状況を調査した。平成 19 年に調査した 2 流域を踏査したところ、当時と同程度の 500～1,000 個体の生育を確認した。また、これまでに確認されていない別流域を踏査し、新たに 1 集団の生育を確認することができた。



希少種
(ヤシャイノデ)



希少種
(サガミジョウロウホトトギス)

② **F S** 淡水魚類のモニタリングと保全方策の検討 (IV-1-③)

- ・ IV-1-③に記載のとおり

